allcinema

哀しい気分でジョーク（1985）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 108分
初公開日 1985/04/26

【解説】
　吉田剛のオリジナル脚本を瀬川昌治が監督したヒューマン・ドラマで、ビートたけしの初主演映画。劇中歌として流れる「グリーングリーン」が涙を誘う。
　人気コメディアンの五十嵐洋はテレビやラジオに引っぱりだこで、一人息子の健の世話はマネージャーの善平に任せきりだった。だが健が脳幹部腫瘍に冒されており、余命数ヶ月と診断されてしまう。妻に逃げられ息子と二人暮らしだった洋は、その日を境に仕事の量をセーブし、できるだけ健と二人の時間を増やすことにした。だが健のことが気になり仕事に打ち込むことができず、洋のコメディアンとしての評判は落ちていく一方だった。さらに美人局に引っかかり大金を巻き上げられてしまう始末。洋は別れた妻のいるオーストラリアへ健を連れて行くのだが…。

【クレジット】

監督	瀬川昌治		
プロデューサー	佐々木孟		
脚本	吉田剛		
撮影	坂本典隆		
美術	猪俣邦弘		
編集	太田和夫		
音楽	いずみたく		
主題歌	ビートたけし	Beat Takeshi	
助監督	福島孔道		
出演	ビートたけし	Beat Takeshi	五十嵐洋
	中井貴恵		香宮悠子
	柳沢慎吾		谷善平
	石倉三郎		佐川六助
	川辺太一朗		五十嵐健
	木内みどり		リヨ子
	ポール牧	Paul Maki	コメディの相手役
	鈴木ヒロミツ		クイズ番組の司会者
	うつみ宮土理		クイズ番組の司会者
	菅井きん		小学校の女教師
	大谷直子		秋野美枝

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.